

学生担当者報

9

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 中山祥吉 編集責任者 / 東井申雄

TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website <https://tsa.tenrikyo.or.jp> Happist <https://happist.net>

Vol. 475
立教 189 年
2026 年
8 月 25 日発行

お知らせ

九月例会

期日…立教 189 年 9 月 25 日
時間…15 時 30 分受付 16 時開始
会場…教庁 4 階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

教区

・佐賀 9 月 2 日 教務支庁

直属

・芦津 9 月 23 日 大教会

・津 9 月 23 日 大教会

報告

七月例会

去る 7 月 25 日、東右第四棟 4 階講堂において「7 月例会」を開催。出席は 24 教区、81 直属。

各地の動き

直属学生層育成者講習会

・小南部 7 月 22 日 大教会

坂本輝男委員出向

人事

《立教 189 年 7 月 25 日付》

【直属学生担当委員長辞令交付】

・藤村國平（兵神・三木）
・茶本勝善（船場・堀港）

業務記録

《立教 189 年 7 月 16 日～8 月 15 日》

7 月 24 日 広報部会

25 日 委員会

例会

担当者活動部部会

学生部部会

8 月 3 日 学修部部会

7 日 学生生徒修養会 高校の部

スタッフ直前研修会（8 日）

9 日 学生生徒修養会 高校の部（13 日）

11 日 広報部会

「本音っていいね」



教祖百四十年祭も終わり、若い方々の育成を」という言葉を、以前よりも耳にするようになりました。

学生担当委員会では、学修やまなびば、様々な研修で、GW（グループワーク）を使っています。GWと聞くと、思い出す 1 つのエピソードがあります。私は高校 1 年生のとき、一人の先生にこんな質問をしました。「なぜ親神様は、人間を最初から陽気ぐらしができるように作らなかったんですか？」みなさんだったらどう答えられるでしょうか？

その時の先生の答えは、一言、「そんなこと聞くんじゃない！」でした。その返答に、高校生の私は「ああ、僕が今思った疑問は、間違っているんだ。聞いてはいけないことを聞いてしまったんだ」と、ショックを受けました。それ以来、私は自分の意見に自信を持てなくなっていました。何か意見を求められても、本心は隠して、それっぽい、相手が喜びそうなことや、その場の雰囲気に合わせてだけの答えを言うようになっていきました。歳を重ねて、そんな私が変わるきつ

かけがありました。それは、28 歳の時にスタッフとして参加した学修の事前研修会でした。

そこでは、スタッフの何人かで班を作り、受講生が本期間に実施する GW を体験します。その時体験した GW に、班員それぞれが班のメンバーに聞いてみたいことや、普段思っていること、班で話し合いたいお題を紙に書いて出し合い、その中のお題を選び、班員みんなです話し合うという GW がありました。

その GW を始める前に、トレーナーの方が「この時間は自分がみんなに聞いてみたい質問や、普段思っている悩みを何でも自由に話し合おう。正解、不正解はないから、思ったことを書いてくれたらいいよ」と言ってくれました。

そこで私は、あの高校 1 年生の時と同じ質問を、勇気を出して聞いてみようと思いました。そうすると、班員の 1 人が僕の質問を見て、「俺もこれ思ってた。これについて話し合おうよ」と言ってくれました。自分が普段本当に思っていること、ポジティブなこともネガティブなことも含め、みんなです話し合えた時間になりました。

GW が終わってから、班のメンバーは

人材育成部

委員

児玉 一也

「俺が普段思ってたことを、お題に書いてくれてよかった。一緒の疑問を持つている人がいて嬉しかった。そして、トレーナーの方は「良い質問をしてくれたね。おかげで良い話し合いができたよ、ありがとう」と言ってくれたのです。

その言葉を聞いたとき、高校時代からずっと胸に引っかかっていた「聞いてはいけないことを聞いてしまった」という重荷がスーッと降りていくのを感じました。「自分の素直な疑問や本音を出してもいいんだ」「受け止めてもらえるんだ」と思えた瞬間でした。育成の現場においても、若い方々が「自分の本心や悩みを安心して出せる場」を作ることが、何より大切だと感じています。

毎年 11 月に開催している「育成に役立つ研修会」では、こうした GW 本来の魅力や、トレーナーとして大切な心構えを実際に体感し、学んでいただきます。

ぜひ皆さんも研修会へお越しください！一緒に本音で語り合いたいです！

教典のススメ

— 教えを心の拠り所に —

本部員 井上護夫



学生向けの
教典入門！

好評連載中！
教えをまなぶシリーズ



立教 189 年 学生担当委員会 活動方針

「真にたずかるこの道を、共に歩もう」

立教百八十九年 学生生徒修養会 高校の部 開催報告

「立教 189 年 学生生徒修養会 高校の部」を 8 月 9 日より 13 日までの 4 泊 5 日で開催しました。今年は 731 名の受講生を迎え、事前に研修を重ねた 394 名のスタッフが世話取りにあたりました。

本年の「学修 高校の部」では、前期に引き続き「陽気ぐらしに必要なことぐ向き合うことの大切さ」というテーマのもと、一年生は「人と向き合う」、二年生は「自分と向き合う」、三年生は「神様と向き合う」という学年別のテーマを掲げて作成したプログラムを実施しました。

スタッフ一同は 7 日より直前研修会を行い、8 日の係員結団式で真柱様は、今回のテーマ「陽気ぐらしに必要なこと」に触れられそれを伝えるため親神様の思召を分かなければ、陽気ぐらしは出来ない、伝える側は誤りなく伝える努力が必要で、おちばで学んでいる間に、少しでも将来に対する素地を作ってもらうために心配りをしてほしい。また係員自身も信仰の上での完成を目指して、努力しなければならぬ年齢であり、学生層に近い年齢であるから自らの成人を考え思召しをしつかりと心に治め受講生に伝える努力をしてほしいとお話くださいました。その後、係毎でねりあいを行い、真柱様のご期待にお応えできるよう、受講生を迎える心を作らせていただきました。

9 日に受講生を迎え、いよいよ本期間が始まりました。各学年でウォーミングアップやオリエンテーション、関係づくりのための GW（グループワーク）等を行い、心がほぐれてきたところで全ての受講生が一堂に会して、開講式を執り行いました。その席上、学生担当委員会

担当常詔山本忠治先生より親神様、教祖が可愛い子供たちが元気に親元に帰ってきてくれたこと、また親の思い、陽気ぐらしの教えを学んでくれることを何よりお喜びくださっている。そして 5 日間お見守り下され、お連れ通り下さるので何も心配ありません、と激励のご挨拶をいただきました。

期間中、受講生は「グループタイム」や休憩時間、就寝前の時間等の中で、共に語り合い、支え合い、たすけ合う中で、縁あつて出会った教友たちとの関係を深めました。また「親神様」、「教祖」、「かしも・かりもの」の講話を通して、教えに触れる充実した 5 日間を過ごしました。

お別れ会では、心を通わせ、共に 5 日間を過ごしたカウンセラーと受講生が別れを惜しみ、涙する感動の場面が各学年で見られました。開講式で表統領先生は、学修はおちばで育てたいという神様の親心があり、その親心にお応えしたいという様々な人たちの思いが結集されている。このおちばは人間の故郷であり、必ずたすけてくださるヒントやきっかけがありそれを見つけられる場所でもあります。そして、この学修で学んだことを普段の生活の中で忘れないように陽気ぐらしを心において通ってください、と期待をこめてお話くださいました。

最後に、この度は真柱様、真柱奥様、大亮様、布恵様の親心を賜り、また各直属学生担当委員会の皆様の大きなご理解とご協力のもと、「学生生徒修養会 高校の部」をつとめ終えることができましたことに深く感謝申し上げます。

「立教百八十九年こどもおちばぐえり 学生ひのきしん隊」開催報告

こどもおちばぐえりの期間中、大学生を中心とした「学生ひのきしん隊」を結成し、今年は 56 名の学生が参加、延べ 196 名がひのきしんに励みました。

期間中は、帰ってきたこどもたちを笑顔で迎え、楽しい時間を過ごしてもらえよう、それぞれが持ち場で積極的に活動しました。会場での受け入れや誘導をはじめ、ひのきしんの説明、回廊での声掛けなど、学生ならではの明るさと元気を生かして、さまざまな場面でこどもたちと関わりました。

また、今年からは高校生も参加対象となり初めて参加する学生もいる中、経験のある学生が自然と声を掛け、互いに助け合う姿が随所に見られました。暑さの厳しい中でひのきしんとなりましたが、仲間と励まし合いながら一人ひとりが役割を果たし、ひのきしんを通して多くの出会いや喜びを味わうことができました。

「立教百八十九年天理教学生会 夏期リーダーの集い」開催報告

天理教学生会では、8 月 18 日、19 日の 2 日間に渡り、本部第 7・8・9 母屋を会場に、「立教 189 年天理教学生会夏期リーダーの集い」を開催し、総勢 154 名の学生が参加しました。（教区 26 団体 70 名、直属 19 団体 29 名、学生スタッフ 55 名）

1 日目は、この行事の趣旨や道の学生ひのきしん DAY（9 月 14 日）について学びを深めました。また、かしも・かりものの教えについて教典を読み、その上で紺谷委員から講話を聞き、練り合いを行いました。

2 日目は、自団体の上半期の活動を振り返り、班内でお互いの気持ちに寄り添い、気持ちを高め合いました。そして久住優斗委員長の話の話を聞いて、日々行うひのきしんはもとより、道の学生ひのきしん DAY をどのように迎えるかについて考え、お道につながる学生として心をひとつにすることを誓い合いました。

最後にひのきしんを実践し、今回の夏期リーダーの集いを終えました。

「学生の集いまなびば」9 月、10 月開催一覧

教 区	日 時	会 場	責 任 者	連 絡 先
岐阜	9 月 5 日 14 : 00 ～6 日 14 : 00	美納分教会	山中正崇	090-9986-1178
神奈川	10 月 4 日 9 : 00 ～5 日 16 : 30	教務支庁	加藤孝行	080-4686-3135